

東京 B 地区会開催



平成 29 年 2 月 14 日、渋谷エクセルホテル東急において、東京 B 地区会(代表幹事：安永登／情報技術開発(株) 代表取締役会長)が開催された。参加者は 46 名。

開会にあたり安永代表幹事から「情報サービス産業界は人手不足がしばらく続くだろう。本日の講演を高齢者活用の参考にしていただきたい。」と挨拶があった。

次に経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 企画官(IT 利活用)古原和邦氏から IoT 推進ラボや攻めの IT 経営中小企業百選などの IT 産業施策、若手 IT 人材の育成や試験・資格制度などの人材施策等について説明があった。

続いて JISA 小脇一朗副会長・専務理事から、「JISA Spirit—ソフトウェアで『!(革命)』を」具現化のための活動や働き方改革、下請取引適正化、地域活性化への取組等のほか、昨夏とりまとめられた「未来を展望する」委員会報告についての報告があった。また、平成 29 年度の施策案について説明があった。

最後に、安永代表幹事から、「東京 A 地区会が推薦する平成 29・30 年度の理事候補者 2 名の選出については代表幹事に一任願いたい。」との提案があり、異議なく了承された。

休憩を挟んで、筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授・(株)つくばウエルネスリサーチ 代表取締役社長 久野譜也氏による講演「ICT が日本の高齢社会を救う処方箋の方向性」が行われた。

瀬戸口氏は、健康寿命を延ばすには食事と運動（有酸素と筋トレ両方）が重要なこと、健康情報の伝達や実行のサポートに IT を活用するアイデアなどについて語った。

(赤尾)